

令和4年3月3日

水際措置の見直しについて

水際対策について以下の措置を講じる。

1. 入国者総数の引上げ
入国者総数の上限について、現在の1日5,000人目途を、3月14日から1日7,000人を目途に引き上げる。
2. 外国人留学生の着実な受け入れの実施
上記とは別に、留学生の受け入れを優先的かつ着実に実施するため、別紙の措置を講じる。

(別紙)
令和4年3月3日
文部科学省
出入国在留管理庁
国土交通省

留学生円滑入国スキームの導入について

- 外国人留学生について、「留学生円滑入国スキーム」を設け、留学生の受け入れを優先的かつ着実に実施する。
- ビジネス客等が比較的少ない月曜日から木曜日を中心に、国内航空会社等の協力を得て、大学等の受入機関が搭乗便の希望を集約した留学生について、フライト毎の一般枠と別に扱い、空席を活用して、留学生が円滑に搭乗・入国することを可能とする。

(例)

入国者総数管理のため設定



- 大学、高等学校、日本語教育機関等を対象とする。
- 本スキームによる搭乗は、4月からの新学期を控え、最も需要が高まる3月の中旬を目途に開始することとし、文部科学省及び出入国在留管理庁により設置されるサポートセンターが大学、日本語教育機関等における留学生の需要を把握し、航空会社との連携により実施する。
- 当面5月末までの便を対象として受け付ける。

留学生円滑入国スキーム イメージ図

